

# カチンの森 - ポーランド指導階級の抹殺



## カチンの森

ポーランド指導階級の抹殺

ヴィクトル・ザスラフスキ  
訳者: 木暮実記

みすず書房

[カチンの森 - ポーランド指導階級の抹殺 下载链接1](#)

著者: ヴィクトル・ザスラフスキ

出版者: みすず書房

出版时间: 2010/7/10

装帧:

isbn: 9784622075394

1939年8月の独ソ不可侵条約、それにもとづく両国の相次ぐポーランド侵攻、こうして第二次大戦ははじまった。1940年春、ソ連西部、スモレンスク郊外のカチンの森で、ソ連秘密警察は約4,400人のポーランド人捕虜将校を銃殺した。犠牲者数は、同時期に他の収容所などで殺されたポーランド人と合わせて22,000人以上。職業軍人だけでなく、医師、大学教授、裁判官、新聞記者、司祭、小中学校教師など、国をリードする階層全体におよんだ。

しかしソ連は、犯人はドイツであると主張。  
さらに連合国もすべてソ連の隠蔽工作に加担し、冷戦下も沈黙を守りつづけた。  
ソ連が事実を認めたのは1990年、ゴルバチョフの時代。  
92年になるとスターリンの署名した銃殺命令書も閲覧可能になる。  
スターリンが、ポーランドという国自体を地図から抹消しようとした理由は何か。  
なぜゴルバチョフは、もっとも重要な文書の公開に踏み切れなかったのか。  
著者は簡潔にバランスよく、  
独ソ不可侵条約とカチン虐殺の関係、欧米列強の対応と思惑、  
歴史家の責任、さらにはカチンに象徴されるソ連全体主義の根本的な問題と、  
ふたつの全体主義国家（ナチ・ドイツとソ連）の比較まで、最新資料を駆使しながら  
解析する。日本では類書はきわめて少ないが、欧米では蓄積がある。  
本書はそのなかでも決定版として評価が高い。  
今後、20世紀ソ連の全体主義見直しのなかで、ますます重要度を増すことだろう。  
2008年、ハンナ・アーレント政治思想賞を受賞。

作者介绍:

目录:

[カチンの森 - ポーランド指導階級の抹殺 下载链接1](#)

标签

评论

[カチンの森 - ポーランド指導階級の抹殺 下载链接1](#)

书评

[カチンの森 - ポーランド指導階級の抹殺 下载链接1](#)